

お詫びとご報告

本日、弊社社員のブログに不適切な表現があり、多くの方にご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

< ブログ記事 >

「LINEのソーシャルネットワーク化の先にあるもの - SNS 難民は救われ、mixi は死ぬ」
<http://www.littleshotaro.com/archives/1777> (すでにタイトルは変更されております)

記事のタイトルおよび記事内において、不適切な表現を使ってしまったこと、また、株式会社ミクシィ様、mixi ユーザー、および業界関係者の皆様への配慮が足りていなかったことを深く反省しております。

マーケティング会社の社員以前に、ひとりの人間として、「逆の立場だったら、どう思うか」という最も基本的なことへの配慮や想像力が欠如した内容となっております。申し訳ございません。

ご迷惑をおかけした株式会社ミクシィ様へは、さきほどご報告の上、お詫び申し上げます。また、もし機会が頂けるならば、直接訪問して改めて謝罪させて頂きたいと考えております。

< 再発防止に向けて >

今回の件を厳粛に受け止め、代表取締役社長である池田紀行が指揮をとり、

- ・ ソーシャルメディアやデジタルマーケティングを支援する会社、およびそこで働く社員としての責任と心構え
- ・ 言及する会社で働く社員の皆さま、およびユーザーの方々の気持ちを自分のこととしてよく考えること

などについて、全社員でディスカッションをする機会を持ち、社をあげて再発防止に努めるとともに、株式会社ミクシィ様、ユーザーの皆様、および業界関係者の皆様からの信頼回復に努めてまいります。

2012年7月12日

株式会社トライバルメディアハウス
代表取締役社長 池田紀行